

SNMPコミュニティストリングの設定

内容

[概要](#)

[背景](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ルータおよびCatalystスイッチでのSNMPの設定](#)

[SNMPコミュニティ文字列の有効化](#)

[SNMPコミュニティ文字列の確認](#)

[SNMPコミュニティ文字列の変更](#)

[SNMPコミュニティ文字列の無効化/削除](#)

[RSMでのSNMPの設定](#)

[SNMPコミュニティ文字列の有効化](#)

[SNMPコミュニティ文字列の確認](#)

[SNMPコミュニティストリングの変更/無効化/削除](#)

[マルチレイヤスイッチフィーチャカード\(MSFC\)でのSNMPの設定](#)

[SNMPコミュニティ文字列の有効化](#)

[SNMPコミュニティ文字列の確認](#)

[SNMPコミュニティ文字列の変更、削除、または無効化](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Ciscoルータ、ルートスイッチモジュール、およびCatalystスイッチでSimple Network Management Protocol (SNMP ; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 文字列を設定する方法について説明します。

背景

このドキュメントでは、Ciscoルータ、ルートスイッチモジュール(RSM)、およびCatalystスイッチでSimple Network Management Protocol(SNMP)コミュニティストリングを設定する方法について説明します。このドキュメントでは、configureはverify、enable、modify、およびdisableとして定義されます。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ルータおよびCatalystスイッチでのSNMPの設定

SNMP コミュニティ文字列の有効化

この手順は、ルータとCisco IOS®ソフトウェアベースのXL Catalystスイッチの両方で同じです。

1.ルータにTelnetします。

```
prompt# telnet 172.16.99.20
```

2.プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
Router>enable
```

```
Password:
```

```
Router#
```

3.実行コンフィギュレーションを表示し、SNMP情報を探します。

```
Router#show running-config
```

```
Building configuration...
```

```
....
```

```
....
```

注：SNMP の情報がない場合は、次のステップに進みます。いずれかの SNMP コマンドが表示される場合、それらのコマンドを変更または無効にできます。

4.コンフィギュレーションモードに入ります。

```
Router#configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End
```

```
with CNTL/Z.
```

```
Router(config)#
```

5.読み取り専用(RO)コミュニティ文字列を有効にするには、次のコマンドを使用します。

```
Router(config)#snmp-server community public RO
```

「public」は読み取り専用コミュニティ文字列です。

6.読み取り/書き込み(RW)コミュニティ文字列を有効にするには、次のコマンドを使用します。

```
Router(config)#snmp-server community private RW
```

「Private」は読み取り/書き込みコミュニティ文字列です。

7.コンフィギュレーションモードを終了し、メインプロンプトに戻ります。

```
Router(config)#exit
```

```
Router#
```

8.変更した設定を不揮発性RAM(NVRAM)に書き込み、設定を保存します。

```
Router#write memory
```

```
Building configuration...
```

```
[OK]
```

```
Router#
```

SNMP コミュニティ文字列の確認

SNMPコミュニティストリングを確認するには、次の手順を実行します。

1.ネットワーク管理サーバ(NMS)サーバとルータの間にTCP/IP接続があることを確認します

```
C:\>ping 172.16.99.20
```

```
Pinging 172.16.99.20 with 32 bytes of data:
```

```
Reply from 172.16.99.20: bytes=32 time<10ms TTL=247
```

```
Reply from 172.16.99.20: bytes=32 time=10ms TTL=247
```

```
Reply from 172.16.99.20: bytes=32 time<10ms TTL=247
```

```
Reply from 172.16.99.20: bytes=32 time<10ms TTL=247
```

```
Ping statistics for 172.16.99.20:
```

```
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
```

```
Approximate round trip times in milli-seconds:
```

```
    Minimum = 0ms, Maximum = 10ms, Average = 2ms
```

2.ルータにTelnetします。

```
prompt# telnet 172.16.99.20
```

3.プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
Router>enable
```

```
Password:
```

```
Router#
```

4.実行コンフィギュレーションを表示し、SNMP情報を探します。

```
Router#show running-config
```

```
....
```

```
....
```

```
snmp-server community public RO
```

```
snmp-server community private RW
```

```
....  
....
```

この出力例では、「public」は読み取り専用コミュニティ文字列で、「private」は読み取り/書き込みコミュニティ文字列です。

SNMP の情報がない場合は、次のステップに進みます。SNMPコマンドがリストされている場合は、変更または無効にできます

注：「snmp-server」文が表示されない場合は、ルータでSNMPが有効になっていません。または、イネーブルモードで**show snmp**コマンドを実行します。このメッセージが表示される場合、ルータ上でSNMPが有効になっていないことも示します。以下に、いくつかの例を示します。

```
Router#show snmp %SNMP agent not enabled
```

```
Router#
```

5.イネーブルモードを終了し、メインプロンプトに戻ります。

```
Router#disable
```

```
Router>
```

SNMP コミュニティ文字列の変更

SNMP コミュニティ文字列を変更するには、次の手順を実行します。

1.ルータにTelnetします。

```
prompt# telnet 172.16.99.20
```

2.プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
Router>enable
```

```
Password:
```

```
Router#
```

3.実行コンフィギュレーションを表示し、SNMP情報を探します。

```
Router#show running-config
```

```
Building configuration...
```

```
...  
...
```

```
snmp-server community public RO
```

```
snmp-server community private RW ....
```

```
....
```

4.コンフィギュレーションモードに入ります。

```
Router#configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
```

```
Router(config)#
```

現在の読み取り専用(RO)コミュニティ文字列を変更するには、次の手順を実行します。

a.次のコマンドを使用して、現在の読み取り専用 (RO) コミュニティ文字列を削除します。

```
Router(config)#no snmp-server community public RO
```

「public」は読み取り専用コミュニティ文字列です。

b.次のコマンドを使用して、新しい読み取り専用 (RO) コミュニティ文字列を入力します。

```
Router(config)#snmp-server community XXXX RO
```

ここで、「XXXX」は読み取り専用のコミュニティストリングです。

現在の読み取り/書き込み(RW)コミュニティ文字列を変更するには、次の手順を実行します。

a.次のコマンドを使用して、現在の読み取り/書き込み (RW) コミュニティ文字列を削除します。

```
Router(config)#no snmp-server community private RW
```

ここで、「private」はread-write(RW)コミュニティストリングです。

b.次のコマンドを使用して、新しい読み取り/書き込み (RW) コミュニティ文字列を入力します。

```
Router(config)#snmp-server community YYYY RW
```

「YYYY」は読み取り/書き込みコミュニティ文字列。

5.コンフィギュレーションモードを終了し、メインプロンプトに戻ります。

```
Router(config)#exit
```

```
Router#
```

6.変更した設定を不揮発性RAM(NVRAM)に書き込み、設定を保存します。

```
Router#write memory
```

```
Building configuration...
```

```
[OK]
```

```
Router#
```

SNMP コミュニティ文字列の無効化/削除

SNMPコミュニティ文字列を無効または削除するには、次の手順を実行します。

1.ルータにTelnetします。

```
prompt# telnet 172.16.99.20
```

2.プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
Router>enable
```

```
Password:
```

```
Router#
```

3.実行コンフィギュレーションを表示し、SNMP情報を探します。

```
Router#show running-config
```

```
Building configuration...
```

```
....  
....
```

```
snmp-server community public RO snmp-server community private RW
```

```
....  
....
```

4.コンフィギュレーションモードに入ります。

```
Router#configure terminal
```

```
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
```

```
Router(config)#
```

5.現在の読み取り専用(RO)コミュニティ文字列を無効/削除するには、次のコマンドを使用します。

```
Router(config)#no snmp-server community public RO
```

「public」は読み取り専用コミュニティ文字列です。

6.現在の読み取り/書き込み(RW)コミュニティ文字列を無効/削除するには、次のコマンドを使用します。

```
Router(config)#no snmp-server community private RW
```

「Private」は読み取り/書き込みコミュニティ文字列です。

7.コンフィギュレーションモードを終了し、メインプロンプトに戻ります。

```
Router(config)#exit
```

```
Router#
```

8.変更した設定を不揮発性RAM(NVRAM)に書き込み、設定を保存します。

```
Router#write memory
```

```
Building configuration...
```

```
[OK]
```

```
Router#
```

RSMでのSNMPの設定

SNMP コミュニティ文字列の有効化

RSM は、ルータと同じように Cisco IOS ソフトウェア コードを実行します。RSMでSNMPを有効にするには、ルータの説明と同じ手順を実行[します](#)。

SNMP コミュニティ文字列の確認

RSM で SNMP コミュニティ文字列を確認するには、次の手順を実行します。

1. CatalystスイッチにTelnet接続します (この例では、Catalyst 5500を使用します)。

```
prompt# telnet 172.16.99.55
```

2. プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
Cat5500>enable
```

```
Password:
```

```
Cat5500> (enable)
```

3. **show module**コマンドを実行して、システムモジュールを表示し、RSMモジュールを見つけます。以下に、いくつかの例を示します。

```
Cat5500> (enable) show module
```

```
Mod Slot Ports Module-Type Model Sub Status
```

```
-----  
1 1 0 Supervisor III WS-X5530 yes ok  
2 2 2 Gigabit Ethernet Ext WS-X5410  
3 3 9 Gigabit Ethernet WS-X5410 no ok  
4 4 24 10BaseT Ethernet WS-X5010 no ok  
5 5 1 Route Switch WS-X5302 no ok  
6 6 1 Network Analysis/RMON WS-X5380 no ok  
7 7 12 10/100BaseTX Ethernet WS-X5213A no ok  
9 9 16 Token Ring WS-X5030 no ok  
10 10 12 10BaseFL Ethernet WS-X5011 no ok  
11 11 24 10/100BaseTX Ethernet WS-X5225R no ok  
13 13 ASP/SRP no
```

```
...  
...  
--
```

4. Mod番号を特定したら、RSMモジュールへの「セッション」を開始します。以下に、いくつかの例を示します。

```
Cat5500> (enable) session 5
```

```
Trying Router-5...
```

```
Connected to Router-5.
```

```
Escape character is '^]'.  
  
RSM>
```

5. プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
RSM>enable
```

```
Password:
```

```
RSM#
```

6. 実行コンフィギュレーションを表示し、SNMP情報を探します。

```
RSM#show running-config
```

```
Building configuration...
....
....
snmp-server community public RO
snmp-server community private RW
....
....
```

この出力では、「public」は読み取り専用コミュニティストリング、「private」は読み取り/書き込みコミュニティストリングです。

注：「snmp-server」という文がない場合は、ルータで SNMP が有効になっていません。または、イネーブルモードで **show snmp** コマンドを実行できます。このメッセージが表示される場合、ルータ上で SNMP が有効になっていないことも示します。以下に、いくつかの例を示します。

```
RSM#show snmp
```

```
%SNMP agent not enabled
RSM#
```

7.イネーブルモードを終了し、メインプロンプトに戻ります。

```
RSM#exit
Cat5500> (enable)
```

SNMPコミュニティストリングの変更/無効化/削除

RSM は、ルータと同じように Cisco IOS ソフトウェア コードを実行します。ルータの例で説明されているのと同じ手順を実行して、SNMPを変更、無効、または削除[できます](#)。

マルチレイヤスイッチフィーチャカード(MSFC)でのSNMPの設定

SNMP コミュニティ文字列の有効化

マルチレイヤスイッチフィーチャカード (MSFC) は、ルータと同じように Cisco IOS ソフトウェアコードを実行します。

SNMP コミュニティ文字列の確認

マルチレイヤスイッチフィーチャカード(MSFC)でSNMPコミュニティストリングを確認するには、次の手順を実行します。

1. CatalystスイッチにTelnet接続します (この例ではCatalyst 6509を使用します)。

```
prompt# telnet 172.16.99.66
```

2.プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

```
Cat6509>enable
```


Password:

Cat6509> (enable)

3.システムモジュールを表示し、MSFCモジュールを見つけるには、**show module**コマンドを実行します。以下が一例です。

Cat6509 (enable) **show module**

```
Mod Slot Ports Module-Type Model Sub Status
```

```
-----  
1 1 2 1000BaseX Supervisor WS-X6K-SUP1A-2GE yes ok  
15 1 1 Multilayer Switch Feature WS-F6K-MSFC no ok 3 3 8 1000BaseX Ethernet WS-X6408A-GBIC no ok  
4 4 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 yes ok  
5 5 48 10/100BaseTX Ethernet WS-X6348-RJ-45 no ok  
6 6 8 T1 WS-X6608-T1 no ok  
7 7 24 FXS WS-X6624-FXS no ok  
8 8 0 FlexWAN Module WS-X6182-2PA no ok
```

```
....  
....  
--
```

4 Mod番号を特定したら、MSFCモジュールへの「セッション」を開始します。以下に、いくつかの例を示します。

Cat6509> (enable) **session 15**

```
Trying Router-15...  
Connected to Router-15.  
Escape character is '^]'.  
  
MSFC>
```

5.プロンプトでイネーブルパスワードを入力して、イネーブルモードに入ります。

MSFC>**enable**

Password:

MSFC#

6.実行コンフィギュレーションを表示し、SNMP情報を探します。

MSFC#**show running-config**

```
Building configuration...
```

```
....  
....  
snmp-server community public RO  
snmp-server community private RW  
....  
....
```

この出力では、「public」は読み取り専用コミュニティストリング、「private」は読み取り/書き込みコミュニティストリングです。

注：「snmp-server」文が表示されない場合は、ルータでSNMPが有効になっていません。
または、イネーブルモードで**show snmp**コマンドを実行できます。このメッセージが表示さ

れる場合、ルータ上で SNMP が有効になっていないことも示します。以下に、いくつかの例を示します。

```
MSFC#show snmp
```

```
%SNMP agent not enabled
```

```
MSFC#
```

7.イネーブルモードを終了し、メインプロンプトに戻ります。

```
MSFC#exit
```

```
Cat65509> (enable)
```

SNMPコミュニティ文字列の変更、削除、または無効化

MSFC は、ルータと同じように Cisco IOS ソフトウェア コードを実行します。ルータの例に示すように、SNMPを変更、削除、または無効にするには、同じ手順を[実行できます](#)。

関連情報

- [シスコ セキュリティ アドバイザリ: Cisco IOS ソフトウェア SNMP 読み取り/書き込み ILMI コミュニティ文字列の脆弱性](#)
- [シスコ セキュリティ アドバイザリ: Cisco IOS ソフトウェアの複数の SNMP コミュニティ文字列](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)